



西松建設
献金疑惑

4日、千代田区
で比例東京ブロッ
クの池田真理子
さんと訴える

小沢代表と民主党は説明責任果たせ

民主党・小沢代表の公設秘書が、違法献金疑惑で逮捕された。違法な企業献金であると知りながら、西松建設と共同して偽装していたという疑惑です。小沢氏側から献金の要求があったという疑惑も浮上しています。日本共産党は、小沢代表と民主党が国民への説明責任を果たすことを要求しています。もしその意思がないのなら、国会が真相究明の責任を果たすべきです。

自民党も問われている

西松建設の実態のない政治団体からの偽装献金やパーティー券購入は、二階経産相が代表を

務める政治団体など、自民党・民主党などの多数の政治家に及んでおり、全容の究明が必要で、自民党にも、説明責任と自己浄能力が問われています。

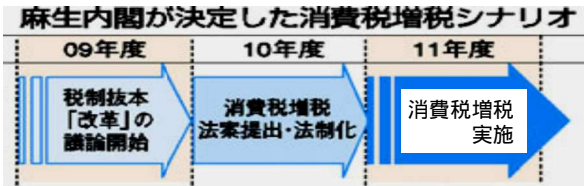
企業献金の全面禁止を

国民のくらしや雇用が大変な時に、またもや「政治とカネ」の問題。日本共産党は、金権腐敗政治を根本から断ち切るために、企業・団体献金の全面禁止を強く要求しています。「企業献金をなくしていく」ことを口実に導入された政党助成金も、今こそ撤廃すべきです。

(3月8日記)

麻生内閣 与謝野財務大臣

2年後にも消費税増税



麻生内閣は1月に、消費税増税を含む「税制抜本改革」法を2011年度までに成立させることを「付則」に盛り込んだ09年度税制法案を国会に提出し、審議中です。

景気が悪化し、くらしと雇用がこれほど深刻な時に、国民に信を問うことなく消費税増税のレールを敷くことは、許されません。消費税増税阻止へ、力をあわせましょう。

新宿区・あけぼのばし通り商店街で、消費税増税反対署名を訴えながら対話する富田なおき(7日)



商店街
の声

「36年間商売やっているけど、景気は最悪」
「署名用紙に『ふざけるな』と書きたいくらいだ」

消費税増税をいつかんとして
推進してきた与謝野大臣

東京1区選出の与謝野馨財務大臣は、05年に自民党財政改革研究会長として消費税2ケタ税率化の報告をとりまとめるなど、根っからの消費税増税論者です。昨年は「文芸春秋」6月号に麻生現首相と「共同宣言」を発表し、「消費税を10%にして社会保障目的税に」と明記するなど、二人三脚ですすめてきました。09年度税制法案の閣議決定の際は、「(増税の)スタート時期は11年度を含む」と述べています(1月23日)。

増税すれば景気に深刻な打撃
消費税増税を強行すれば景気に
さらに大きな打撃を与えることは、

経団連会長 法人税減税のために消費税アップを

政府は「消費税増税は福祉のため」と言いますが、とんでもないデタラメです。消費税ができて20年、社会保障はどんどん悪くなるばかり。一方、国民から吸い上げた消費税は、下の表のように、大企業減税の穴埋めや軍事費の増大に使われてきました。

1989年～2007年	
消費税収入	188兆円
法人税減税	159兆円
軍事費増	20兆円

97年の5%への増税の経験で明らかです。当時、成長率が2.9%に達し、雇用者所得が年4.5兆円増えていたのに、増税で一気にマイナス成長に落ち込みました。しかも、現在は、雇用者の所得は97年度と比べて14兆円も減っています、小泉内閣以来の社会保障と税金の負担増は13兆円。国民の可処分所得は大幅に減っています。

富田なおきが7日に消費税増税反対の署名用紙をもって新宿区・あけぼのばし通り商店街を訪問した際も、「36年間商売やっているけど、景気は最悪。これ以上悪化したら店をたたむしかない」「給付金2万円では景気のプラスにはならない」「署名用紙に『ふざけるな』と書きたいくらい」と、深刻な実態と怒りの声が相次いで寄せられました。



日本共産党衆議院東京1区
国政対策委員長・若者相談室長

富田なおき

事務所ニュース

17 2009.3.15

発行：富田なおき事務所

〒162-0065 新宿区住吉町11-25
TEL 03-3357-3392 FAX 03-3353-4912
E-mail:tomita-naoki@nifmail.jp

広尾病院は都立都営のまままで充実を

2月12日、「広尾病院を都立のまままで存続・充実させる会」の第2回総会に参加しました。

都立広尾病院は、港区民も多く利用しています。おおつか未来さん（港区雇用・福祉の相談室長）が、港区の運動について報告しました。

都心は民間病院も多いから困っていないと思われがちですが、広尾病院は、救急時に高度な医療ができる、差額ベッド代



をとるケースが少ない、地域の病院の中でも核となっている病院です。この日の学習の中で、離島の医療も受け持ち、夜間もペリポートで患者を受け入れていることを初めて知りました。都立でなくなれば、不採算部門の産婦人科、小児科、精神科などが切り捨てられていることは、産科をやめてしまった近隣の荏原病院の例を見てわかります。

障害者自立支援法は廃止を

厚労省から聞き取り

2月19日、障害者自立支援法の国の見直し方針について、厚労省から説明を聞きました。小池晃参議院議員、おおつか未来さん、沖島えみ子港区議、佐藤佳一新宿くらしの相談室長、全都の議員のみなさんが参加しました。



自公政権が強行成立させた自立支援法の実施から4月で3年が経過します。この制度のもとで、「応益負担」による障害者の負担増、事業所の経営難・人員不足、サービスの利用制限など、深刻な事態が大きな問題となってきました。政府は通常国会で「改正」案を成立させるとしています。

厚労省の担当者は、与党プロジェクトチームが確認した「応益負担から応能負担への見直し」「さらなる軽減措置」について、「改正」案にどう盛り込むか調整している、と述べました。また、事業所の経営難の要因ともなっている「日払い方式」については変更しない、と述べました。

参加者からは、「月払い方式でも利用者の利便ははかれる。応能負担にすれば、日払い方式の必要はないのでは」との声も上がりました。小池晃参議院議員は、「つぎはぎだらけの見直しでは、問題は解決しない。障害者自立支援法は廃止して新しい制度をつくり、障害者の負担は原則無料に根本的に転換すべきだ」と強調しました。

表現の自由、国家公務員の基本的人権を守るために 無罪判決をかちとろう!

世田谷国公法弾圧を許さない会総会

休日集合住宅で「しんぶん赤旗」号外を配布し、国公法人事院規則違反に問われた元厚生労働省職員宇治橋真一さんの逆転無罪判決を勝ち取るべく、「世田谷国公法弾圧を許さない会」の第4回総会が、2月26日に開かれました。



総会で、小池晃参議院議員、笠井亮衆議院議員のメッセージを代読する富田なおき

昨年9月の東京地裁での不当判決後初の総会で、70人が参加しました。

弁護団の坂本雅弥弁護士が、「地裁判決は、『ビラを配布したら罰せられなければならない』という結論ありきの判決。表現の自由をうたった憲法21条に重きをおいてない」と、判決の問題点を指摘。控訴審について「公務員のためだけでなく、国民の表現の自由、ビラ配布の自由を認めさせるためにも、無罪を勝ち取らなければならない」と決意表明しました。

富田なおきの へのへのもへ路

神田明神と平将門

正式名称は神田神社、我が家のすぐ近くにあり、都心108町会の総氏神様で神田・白本橋・秋葉原・大手丸の内そして東京の食を支える市場の発祥地の氏神様として青果市場、魚市場の人々からもあつく崇敬されています。



平日でも多くの参拝者が訪れています

すくなくひこなのみことえびす様(三の宮が平将門命、たいらのまさかどのみこと、まさかど様)です(入り口に掲げている神田神社御由緒より)。

そつ、日本史に出てくる平将門を祀(まつ)る神社でもあるのです。天皇の支配に背き、逆賊扱いされた人です。神田で生まれ育ったKさんに言わせれば、神田は反骨の伝統があるんだ、とのこと。天平2年(730年)創建と